

Concert Series

珠玉のリサイタル&室内楽



三浦文彰 ©Yuji Hori 清水和音 ©Mana Miki

三浦文彰

ブラームス：バイオリン・ソナタ・リサイタル — 清水和音 (ピアノ) を迎えて —

世界最難関ともいわれるハノーファー国際コンクールで史上最年少の16歳で優勝し、世界を舞台に活躍を続けるバイオリニスト・三浦文彰と、デビュー以来約40年にわたり常に第一線で活躍を続ける高い技術と豊かな音楽性を備えたピアニスト・清水和音が登場。三浦が、その音色に魅了され、兼ねてから尊敬を抱いていた清水と共にブラームス円熟期の傑作「バイオリン・ソナタ」全3曲をお贈りします。

ヤマハホールの極上の音響空間で、世界トップレベルのデュオで奏でるブラームスの奥深く情熱的な世界を心ゆくまでお楽しみください。

三浦文彰 (バイオリン)、清水和音 (ピアノ)

J.ブラームス /

バイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 「雨の歌」 Op.78

バイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 Op.100

バイオリン・ソナタ 第3番 二短調 Op.108

2022/8/31 (水) 19:00開演 (18:30開場) ヤマハホール 〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

2022/3/12 (土) 前売開始

チケット料金 (全席指定) 5,000円

主催 / ヤマハ株式会社

※政府のイベント人数制限方針により、販売席数が変動する可能性があります。予めご了承ください。

※都合により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

※チケット料金には消費税が含まれております。

チケット取扱い

チケットぴあ <https://pia.jp/t/> [Pコード:213-352]

ヤマハ銀座ビルインフォメーションカウンター (ヤマハ銀座ビル1階)

お問合せ ヤマハ銀座ビルインフォメーション 03-3572-3171 (11:00~18:30/火曜定休 ※但し緊急事態宣言に基づく臨時休業の可能性有) ※お電話でのチケットのご予約は承っておりません。

三浦文彰 ブラームス:バイオリン・ソナタ・リサイタル —清水和音(ピアノ)を迎えて—



©Yuji Hori

三浦文彰 Fumiaki Miura (バイオリン)

2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。東京都出身。両親ともにヴァイオリニストの音楽一家に生まれ、3歳よりヴァイオリンを始め安田廣務氏に、6歳から徳永二男氏に師事。

国内主要オーケストラはもとより、ロサンゼルス・フィルハーモニック、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、マリンスキー劇場管弦楽団、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ベルリン・ドイツ交響楽団、NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、ケルン放送交響楽団、エーテポリ交響楽団、BBCスコティッシュ交響楽団、ブラハ・フィルハーモニア管弦楽団、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団、ユタ交響楽団、オレゴン交響楽団、コロンビア交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、バーゼル交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ローザンヌ室内管弦楽団、香港シンフォニエッタなどと共演。共演した指揮者には、グスターボ・ドゥガメル、ヴァレリー・ゲルギエフ、ウラジーミル・フェドセーエフ、ピンカス・ズーカーマン、アンドレス・オロスコ=エストラーダ、サントゥ=マティアス・ロウヴァリ、ロビン・ティチャーティ、クリスチャン・ヤルヴィ、ワシリー・ペトレンコ、ヤクブ・フルシャ、ステファヌ・ドゥナーヴ、シルヴァン・カンブラン、ピエタリ・インキネンなどが挙げられる。国際音楽祭にもたびたび招かれ、サンクトペテルブルクの白夜祭、宮崎国際音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、マントン音楽祭、グシュタード・メニューイン・フェスティバルなどに出演。ペンデレツキ80歳記念演奏会では、クシユトフ・ペンデレツキ自身の指揮で演奏。さらにリサイタルでも、ルーブルでのパリ・デビュー、ウィグモア・ホールでのロンドン・デビューが絶賛を博した。

NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。18年からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティストリック・リーダーに就任。21/22年シーズンは、ヨーロッパでロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バルセロナ交響楽団と共演。また、マリア・ジョアン・ピリスとデュオ・リサイタルを行い絶賛を博した。CDはエイベックス・クラシックスよりリリースしており、最新盤は、自ら弾き振りをした「モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3、5番」。09年度第20回出光音楽賞受賞。

使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作"Viotti"。



©K.Miura

清水和音 Kazune Shimizu (ピアノ)

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン=ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。1982年、デビュー・リサイタルを開き、高い評価を得た。1983年、第9回日本ショパン協会賞を受賞。同年「ブラハの春音楽祭」にて、ブラハ室内管弦楽団と共演。この成功により1984年、プラティスラヴァ音楽祭のオープニングでスロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団のソリストとして招待された。また同年、ミュンヘンのヘラクレス・ザールでデビュー・リサイタルを行った。ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー指揮ロンドン交響楽団、ジャンナンドレア・ノセダ指揮キーロフ歌劇場フィルハーモニー管弦楽団、ヴァレリー・ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団、ウラディーミル・アシュケナージ指揮シドニー交響楽団などと共演を重ね、国内外で広く活躍。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。

1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音がリリースされている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニエーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は春秋・年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。スカルラッティとバッハに始まり、古典派からロマン派を中心に20世紀のピアノ曲まで、幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、アンドレア・バッティストーニの

指揮で、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。デビュー40周年となる2021年には、春に毎年開催している「3大ピアノ協奏曲の饗宴」で、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」、チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番、そしてラフマニノフのピアノ協奏曲第2番の3曲を一気に披露。秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学大学院教授。



ヤマハホール YAMAHA HALL

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-9-14
03-3572-3139(10:00~18:00/平日のみ)

<https://www.yamahamusic.jp/shop/ginza/hall.html>

- 東京メトロ銀座線/丸の内線/日比谷線
「銀座」駅A3出口より徒歩4分
- 都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分
- JR線「新橋」駅より徒歩7分

ヤマハホール公式 Facebookページ
<https://www.facebook.com/yamahahall>



「いいね」ボタンの
クリックをお願いします。



YAMAHA

Make Waves